レッスン：PYR 28

テーマ：Lifeのスパーク

PYR28/KE05/06/02/1/05

私の姉妹・兄弟たち、

スピリット、光、火の子供たちよ。私たちは常に主、絶対、主の聖性に包まれています。

以前のレッスンでは五芒星と14芒星のそれぞれの役割について述べました。また五芒星は人間のイデアフォームの元型を意味するが、同時に五感をも意味すると述べました。同時にそれら一つ一つはそれらが何を意味するのであれ、それらは実際2つの中にあります。人間のイデアフォームは2つのなかにあり、五芒星は頂点がどちら向きになっているかによって意味が異なります。同じ事が実際両方に言えるのです。

　五芒星としてのイデアフォームは現在のパーソナリティーが自己実現した時初めて適正な位置にある、と述べました。**その体は2つになります、現在のパーソナリティーの体、つまり今や完全に再形成されたサイコノエティカル体、そしてLifeのスパークに属する体です。**

　ですから、2つのステートを意味する五芒星があります、つまり現在のパーソナリティーのステートまたはLifeのスパークのステートです。両方とも五芒星は上向きですが、最後の瞬間まで、つまり潜在的可能性の4番目のサイクルをマスターするまでは下向きになっています。

　前回のレッスンで述べたように、これは最後の瞬間に生じます。しかし

五感を意味する五芒星に関しては、3番目のサイクルをマスターした時には頂点は上向きになり、

他においてはそれは4番目のサイクルをマスターした時に上向きになります。

　　人間の元型としてのイデアフォームを意味する五芒星と14芒星の関係は、現在のパーソナリティーがキリスト意識に到達した時に生じます。生命の木以外のなにものでもない骨組みは完全に再形成されたサイコノエティカル体あるいはイデアフォームと同一です；それらは同じですが一つだけ大きな違いがあります。

サイコノエティカル体を支える骨組みの中心は今や完全に再形成されており、10の全てのセンターは活性化されています。元型であるイデアフォームの骨組みはその存在またはその状態を支えるセンターが必要でしょうか？答えはノーです。それは唯一、Lifeのスパークだけが必要です。なぜなら創造界における全てを提供するのはLifeのスパークだからです。それゆえに、1つのセンターだけがあり、そのセンターとはLifeのスパークなのです。Lifeは何ものをも必要としません。Lifeはただ全てを与えるだけです。

　現在のパーソナリティーとしてのサイコノエティカル体はLifeのスパークによって活性化され、そのLifeのスパークが骨組みを完全に活性化し、完全に再形成されたサイコノエティカル体を支えます。

　ある程度までは前回のレッスンでこのことを説明しました。このようにして現在のパーソナリティーは転生のサイクルの中で、何であれLifeからのものを表現していくのです。

現在のパーソナリティーは将来自己実現した時、自己実現した現在のパーソナリティーは自己実現のステートには留まらないと言いましたが、しかしそのステートは決して失われることはありません。実際、自己実現したそのステートが（＊その人の）未来の全ての現在のパーソナリティーを活性化するのです。

Page2

過去にも説明しましたが、この時点から自己実現した現在のパーソナリティーは自分が前にも存在していた、と言うことができるようになります。

なぜなら､**不定形の諸体であるうちは、毎回生まれ変わって来るたびに、新しい現在のパーソナリティーとして来るからです。**

そしてサイコノエティカル体、つまり永遠のアトムが完全に再形成されるとその時初めて自分が前にも存在していたと言うことができるのです。

現在のパーソナリティーとは名前以外の何ものでもなく、名前には特定の体験が結びついています。それは以前の全ての転生、その時までの体験の総計以外の何ものでもありません。その時から（＊自己実現した時）以降はその体験は変化します。

自己実現してから以降は、現在のパーソナリティーは転生のサイクルに留まるにもかかわらず、現在のパーソナリティーは完全にLifeのスパークによって導かれます。

なぜなら、この現在のパーソナリティーは何であれ大きな潜在的可能性のサイクルが提供するもの、Lifeの表現以外には何も必要としないからです。転生のサイクルに留まる結果としてその人の潜在意識に記録されているものは、他の同胞の人間にとって有益なものとなるでしょう。このことは前回のレッスンでも少し話しました。

　述べたように、全てはLifeから来ます。体験の否定的なステートまたは肯定的な良いステートであろうと、またはファンタジーなど何が表現されても、それらはLifeによってその能力が与えられたからです。潜在的可能性のサイクルにおける全ては、Lifeの最小のスパークからも来ます。なぜなら、最大の中にあるものはまた最小の中にもあり、その反対も言えるからです。現在のパーソナリティーを活性化したのがLifeの微細なスパークなのでこのスパークの中には全体は含まれていない、などと言える人は誰もいません。それがLife、生なのです。

　また五芒星と14芒星の2つのシンボルの他に、六芒星についても説明しました。六芒星は自己実現のステートを意味し、またキリスト意識をも意味します。それはその現在のパーソナリティーは何であれ大きなサイクルが提供するものを行うのみならず、同時に主の名前において奉仕します。つまりその現在のパーソナリティーは主のアガピを現すことを意味します。

　主のアガピとは何で、あなたはそれをどのように理解しますか？主はどのようなレッスンを人間に与えたのでしょうか？それはこの地球上で人間に与えられたのと同じレッスンであり、それは全ての創造物に与えられることでしょう。なぜなら、彼は自分自身を神の息子と呼んでいたからです；彼は自分自身を神と一つであると呼んでいましたが、同時に自分自身を創造界における全ての同胞の人間達の兄弟であると言いました。彼は何であれ彼（＊イエス）が出来ることは全ての人間も行うことができることを示していたのです。なぜなら、そのスパークは全ての人の中にあり、そのスパークが現在のパーソナリティーを活性化するからです。

　レッスンとは何でしょうか？それはLifeがアガピとして人間に与えるものです。アガピは、アガピへ回帰する道を与えます。なぜならアガピは全ての人の内側にあるからです；それは道です。なぜなら彼は自分自身を「道、真理、Life」と呼んでいたからです。それが実際、無知のステートにいてその真の本質を現してない人間に対して、主のアガピが与えているものなのです。

　無知の中にいる間、二元性を現している間、いかにしてそれを行うことができるでしょうか？彼はそれを達成する道、知識を与えました。そしてその知識はあなたの内側にあります。この知識を見いだすための多くの道があります。アベニュー（＊大通り）は一つですが、そのアベニューに入るための多くの道があります。

　ですから、六芒星はこの能力を、可能性を与えます。実際それは可能性ではなく、それは潜在的可能性の大きなサイクルが自己実現した現在のパーソナリティーに与えるものを現す結果として、やって来る何かなのです。

　ですから、自己実現を意味する現在のパーソナリティーの大きなサイクルがあります。そして六芒星は次のことを意味しています…つまり、自己実現した現在のパーソナリティーは主のアガピを他の同胞の人間達に現す能力があることを。

　さて、自己実現に到達した主のアガピの現れのシンボルとして六芒星を使います。それは自己実現した現在のパーソナリティーが不可視のヘルパーとして人々を助ける時に使用する乗り物です。

Page3

　しかし自己実現したモナドセルフのシンボルは何でしょうか？勿論そのステートは性別を超えています。自己実現した現在のパーソナリティーを意味するシンボルは何でしょうか？このシンボルは生命の木に見いだされます。なぜなら全てのシンボル、全ての法則はこの生命の木の上に見いだすことができると説明してきたからです。

　五芒星があり、六芒星があり、七芒星があり、八芒星があり、14芒星その他があります。自己実現したモナドセルフ、それは現在のパーソナリティーを越えていますが、そのシンボルはどれでしょうか？元型である人間のイデアフォームを使用している人を自己実現した現在のパーソナリティーとは呼びません。それは名前さえも越えています。そのシンボルは何でしょうか？

　それは元型である人間のイデアフォームを使用し、不可視のヘルパーの仕事をしているLifeのスパークでしょうか？答えはノーです。完全に再形成されたサイコノエティカル体が使用されます。勿論、その体はその体と共にあるLifeのスパークによって活性化されます。

　Lifeそれ自身を意味するシンボルは何でしょうか？それは三角形です。そのシンボルは今や自己実現したものとしてのモナドセルフであるLifeのスパークを意味します。それは生命の木の外です。それは自己実現したLifeのスパークのシンボルです。

　最初はまだ自己実現していないスパークを意味するシンボルがあり、しかしそれが自己実現したスパークになるとそれは六芒星を使い、そして不可視のヘルパーとして働く間の守りとしてそれを使用します。なぜそのシンボルなのでしょうか？なぜなら、それは既に体験の諸世界、バランスの諸世界のなかにあり、すでに他の人々を益するために十字架の上に置かれているからです。

　そしてそのLifeのスパークが今や他の同胞の人間達を益するために、現在のパーソナリティーを活性化しながら何であれLifeからのものを提供しているのです。

　五芒星は他の同胞の人間達に与える間の乗り物として使用されます。これは光のエンジェルのための乗り物ですが、同時に闇の奉仕者の乗り物にもなれるのです。五芒星は二元性のなかで使用されることができ、それは下向きですが、もう一つは上向きです。しかし、

下向きの五芒星を使用する者たちはいずれにしても六芒星を使用する人達と対面することはできません。

**法則としてのこれらのシンボルは実存の諸世界でこのようにして働きます。存在の諸世界の中では二元性はありません；実際、現在のパーソナリティーのそのような法則は必要ないのです。**

Q：五芒星は二元性のなかでは否定的なものとして、または肯定的なものとして使用されるのですか？そして現在のパーソナリティーが自己実現する前は、なぜ五芒星は下向きなのでしょうか？それは全ては否定性のなかにあることを意味します。

K：現在のパーソナリティーが3番目のサイクルをマスターしたとき、五芒星は上向きになると述べました。つまり、**そのポイントから先は現在のパーソナリティーは5つの真の感覚を使用することができる（意識的にではなく、超意識的にさえも）**ことを意味します。そしてそれはまた、その現在のパーソナリティーは実存の諸世界にいる間にLifeから与えられる最大のミステリーを体験したことを意味します。それは勿論火の洗礼です。**そしてこの火の洗礼は実際にロゴスそれ自身によって行われます。**

　そしてその時以降、現在のパーソナリティーは同胞の人間達に対して多くのアガピを与えることができます。

エゴの様々な側面を除去しようと苦労しますが、それでも同胞に人間たちにたくさんのアガピを与えることができるのです。いいですか、これは意識的意識のセルフエピグノシスを現している3番目のサイクルにいる間、真の五感をマスターしようともがいている間でも可能なのです。

体それ自体が完全に再形成されているかどうかは問題ではありません…それはつまり高次ノエティカル体がサイコノエティカル体に何であれLifeからのものを与えていないということです。そして前に述べましたが、

**サイコノエティカル体が完全に再形成されると、この体が活性化され、Lifeのスパークによって完全に導かれるのです**。なぜなら、それは骨組み（センターとしてではなく）が同一になる、それがサイコノエティカル体であろうと高次ノエティカル体であろうと他の体と完全にマッチするからです。高次ノエティカル体は元型である人間のイデアフォーム以外の何ものでもありません。

Page4

Q：前に現在のパーソナリティーが他の転生を覚えていることは必要ないし、でも良いことでもあると言いましたが、自己実現したパーソナリティーは過去生を覚えているのでしょうか？

K：もし他人を助けるためという理由があればそうですが、好奇心からではありません。自己実現した現在のパーソナリティーのボキャブラリーの中には好奇心という言葉はありません。そして助けるというとき、ある人に対してどのような助けが適切であるかを誰が指示するのでしょうか？

Q：助けが相手にとって益になるかどうか。

K：名前を持つ現在のパーソナリティーは他の現在のパーソナリティーまたは人々のグループにとって何が益になるかを「決める」ことはできません。決断はそれらの益を受けようとする人間たちを生かしているLifeのスパークから来るでしょう。

　なぜでしょうか？なぜなら、前に述べたように、現在のパーソナリティーのための全ての法則は、私達の内側にあるスパークでさえも原因・結果の法則、忘却の法則、聖なる慈悲の法則、聖なる慈悲の法則として働きます。それはLifeのスパークのなかにあり、それは全ての人の内側にあります。

　ですから、過去生を思い出すということには理由があるはずであり、その理由とはそれが他人の益になるということだけです。時には他人のためという理由なしに思い出すことがあるか否かといえば、答えはイエスです。しかしそれが起きる時には必然的な成り行きがあり、自己実現した現在のパーソナリティーにとっても必然的成り行きがあるのです；勿論その成り行きについては私は話しませんが。

絶対のアガピによって与えられたいろいろな可能性を通じて得られた体験は、二元性の特定の質においてその現在のパーソナリティーがいわゆる個人性を現し、何であれ聖なる仕事を成し遂げることを可能にします。この個人性は二元性の意味内のその活動を他のモナドセルフとは異なった何かとなることを許します。それ故に私たちはいわゆる個人性を「獲得」し、他人とは異なったものとして「私は私である」ということを可能にします。しかし、私達の内側にあるLifeのスパークはまったく同じです。

　自己実現において、スパークの違いは様々な色を帯びるというぐらいの程度ですが、しかし質という点ではまったく同じです。それゆえに、自己実現したLifeのスパークの元型としての人間のイデアフォームは全ての人間にとって､自己実現した全てのスパークにとってまったく同じなのです。

　私たちは完全に再形成された体として存在の諸世界に入るわけではありません。なぜならば、そこに入り、魂のセルフエピグノシスと同化するのは現在のパーソナリティーとしてではないからです。自己実現したLifeのスパーク（それはその前に様々な色合いを帯びた現在のパーソナリティーを活性化した）として入るのです。

K：それが実際に起きることです。自己実現した現在のパーソナリティーのその自己実現を魂のセルフエピグノシスに提供する、ということではありません。以前の転生、つまりサイコノエティカル体を活性化させ、永遠のアトム（それは初めは不定形であり、その永遠のアトムが様々な現在のパーソナリティーを現した）を活性化させたのはスパークです。永遠のアトムは乗り物であり、他の全ての現在のパーソナリティーを転生させます。しかし、その永遠のアトムは常にその同じLifeのスパークによって活性化されているのです。はっきりわかりましたか？

　さて、現在のパーソナリティーに関しては、それがどのように働くかについて詳細にわかっています。

永遠のアトム（コーザル体）を活性化させるのはLifeのスパーク（個別的魂・観照者）であり、全ての現在のパーソナリティーを転生させるのは永遠のアトムです。しかし、魂のセルフエピグノシスと同化され魂のセルフエピグノシスに自己実現を与えるのは現在のパーソナリティーではありません。

現在のパーソナリティーは私たちの内側にあるスパーク（個別的魂）に自己実現を与え、そしてスパークは魂のセルフエピグノシス（魂の内奥の真の私）に自己実現を与え、そして勿論、魂は再びテオーシス（＊神との再合一）においてスピリット・セルフ（神我）に自己実現を提供します。このような仕組みになっています。

Page 5

それでは完全に再形成されたサイコノエティカル体には何が起きるのでしょうか？そのようにして消えるのでしょうか？**惑星全体が自己実現に到達すると、**自己実現したLifeのスパーク全てのサイコノエティカル体（それが惑星上の全ての人間のサイコノエティカル体を活性化した）は、もし他の同胞の人間たちのためにサイコノエティカル体を使って働き続けるのならば留まるでしょう…；そうでない場合には、サイコノエティカル体は必要ありません。

彼らは彼らのサイコノエティカル体無しで、他の惑星、他の太陽系、さらには銀河系において同胞の人間たちのために奉仕することでしょう。私が彼らのと言った意味は、自己実現に達した現在のパーソナリティーはもはやサイコノエティカル体を使用しないからです。それはつまり彼らは転生のサイクルに留まらないからです。

　何が起きるのでしょうか？惑星上の全ての人にそれが生じると、つまり惑星が自己実現すると、サイコノエティカル体はLifeのスパークの中に同化されます。そして勿論それが起きるともはや再び戻ってくることはありません。完全に再形成されたサイコノエティカル体がLifeのスパークに同化すると、もはやその体は生まれて来ることはできません；なぜならば前に述べたように、パーソナリティーは創造されるのではなく、生まれて来るからです。言い換えれば、転生に関する「最も広大なヘブン」（the Widest of Heavens)の役割は終わり、もはや必要ないのです。

Q：サイコノエティカル体は各転生を通じて同じですか？それとも各転生のたびに別のサイコノエティカル体を持つのでしょうか？

Ｋ：毎回、同じです。

Ｑ：全ての転生を通じて毎回同じサイコノエティカル体ですか？

Ｋ：そうです。永遠のアトム（コーザル体）が来ては去り､各現在のパーソナリティーを転生させるのです。***そのサイコノエティカル体が再形成の仕事を経ていくのです。それは常に同じサイコノエティカル体です。***それ故に、私たちが得たものは失われないのです。さもないと、もし別の体になるなら各転生において得たものを全て失うことになります。

永遠のアトムは実際、サイコノエティカル体です。それは来ては去っていく乗り物です。しかし勿論、毎回新たな能力、可能性が加わり、変化します。私たちには全体の4分の1を変え、加えるという能力があります。

　ですから、例え完全に再形成されたサイコノエティカル体であっても、もしそのパーソナリティーが転生のサイクルに留まるのなら必要ですが、留まらない場合には必要ありません。しかし、ある惑星上でたった一人の人間だけが自己実現に達しない場合、自己実現した他の全ての人間はその最後の現在のパーソナリティーのために待つことでしょう。

　さて、その後何が起きるかは私たちにはわかりません；つまり、その惑星がもはや必要なくなり、Lifeのスパーク（個別的霊魂・観照者）全てが魂（真我）のなかに同化して魂に戻った後、何が起きるかはわかりません。

わかっていることは、自己実現した惑星は引き続き他の同胞の人間たちのために働きますが、肉体をもった不可視のヘルパーとしては働かないということです；彼らの役目はLifeについて、そして創造界について人々が考え始めるように人々を導き、助けることです。それ以上ではありません。

Q：彼らはまだ転生のサイクル内にいる不可視のヘルパーを助けるのですか？

K：境界を越えた者は誰でも、つまり実存の諸世界と存在の諸世界の境界ではなく、引き続き転生のサイクルに留まるか否かの境界ですが、その境界を越えたということは、

彼らは自己実現した惑星に属しており、現在のパーソナリティーとして再び転生してくることはないことを意味します。

　彼らは引き続き奉仕します、アガピと共に他の役割をします。彼らは引き続き人間のイデアフォームを使用します。それはいわゆる高次ノエティカル体で、その体はスーパーサブスタンスのマインドの波動です。しかし、彼らには望むなら身体、低次の波動の体を物質化するLifeの能力があります。しかし、その体は十字架に架けられることはできず、痛みを経験することもできません。もし人間を助けたいと望むなら、前に述べたように、異なった仕方で人間を助けたいと望むなら物質化することができます。

Page 6

　そうです、彼らは身体を創造し、あなた方と一緒に歩くことさえできます。しかしその身体は自己実現したLifeのスパークによって創造された体です。私は現在のパーソナリティーとは言いません。なぜなら、彼らにおいても人間のイデアの現れはまったく同じであり、まったく同じように見えます。

自己実現したパーソナリティーだけが彼らの違い、彼らの状態における違いを知ることができます。

なぜなら、**彼ら（＊自己実現したパーソナリティー）には現在のパーソナリティーを活性化する結果としてスパークが記録した経験を見る能力があるからです。それはカラーです、各スパークのLifeの本を開くことができるのです。それが違いです。**

　私たちはまた人間のイデアはアークエンジェルを現すことができると説明しました。魂のセルフエピグノシスはアークエンジェルですが、そこにはアークエンジェルのようなプログラムされたセルフエピグノシスがありません。アークエンジェルと私たちとの違いは、私たちには広くて開かれたセルフエピグノシスがあります。つまりアークエンジェルが創造界の諸世界でどんな仕事をしていようと、人間のイデアを通じたアークエンジェルはそのアークエンジェル的状態を現しながらそれをすることができるのです。

言い換えれば、自己実現した現在のパーソナリティーは何であれミカエルがすることを、何であれラファエルがすることを、何であれガブリエルその他がすることを行うことができるのです。

それ故に、私たちが自己実現に到達したら、私たちはアークエンジェル達と共同作業することができるのです。

例えば、私たちはどんな動物の身体をも築き、創造することができるのです。どんなアークエンジェルを使う必要もありません；あなたが自己実現に到達したら、あなたはどんな動物でも創造し、あるいは築くことができ、そしてそれにあなたの生命の息吹を与えることができます。そしてそれは何であれあなたがそれが行うようにプログラムしたことを行うでしょう。そしてあなたがそれに与えた本能を通じてそれ自身を表現します。

　それはLifeそれ自体を現すことはなく、そこにはLifeのスパークはありません。しかし、それは本能によってあなたとつながっており、その本能はプログラムされた本能です。

　しかし、いいですか、これはすでに他人を助けるために、自己実現したLifeのスパークによって行われているのです。エンジェルとは何だと思いますか？今でも思考の使用を通じて私たちとつながっているエレメンタルを創造しているのではないでしょうか？

　勿論、**誰かが自己実現に達すると、その仕事は神のブレーシス（＊意志）の使用を通じて行われます。**

無数のそのようなエレメンタルが生み出され、マインドの一番低い波動の状態をも持つことができるのです。

　それがいわゆる地球外で行われているものです。彼ら自身はやってきません、勿論時には彼らが来ることもあります。しかし、彼らはエレメンタルを創造し、それに何であれ必要な意味を与えます。彼らはアークエンジェルの仕事を行います。何かを築き、まったくアークエンジェルたちがLifeの他の王国を築くのと同じことをします。UFOは現実であり、彼らはこの地球上及び太陽系では古代にまで遡ります。

　自己実現した惑星がどのくらいあると思いますか？無数にあります。この瞬間においてさえ、創造界のなかには無数にあり、数えきれません。同じように今この瞬間に無数の惑星または太陽系が物質化し、または非物質化しています。数え切れないほど多くの魂のセルフエピグノシスが神へと戻り、あるいは神の黙想の動きの中に入って行きます。神の黙想の中に入るということは勿論、彼らが創造の諸世界のなかに入ることを意味します。それは始まりも終わりもない果てしなき動きです。なぜなら実際それがまさにLifeだからです。

レッスン　PYR 28/ エクササイズ１

目を閉じて静かに座り、心を騒がせるものすべてを解き放ちます…真っ白な中にいる自分をイメージし、あなたの形の境界を見ます…

　快適な呼吸を始めます、息を吸う度に真っ白があなたがより輝き、息を吐く度に何であれ白いあなたの中にあるシミ、汚点が消えていきます…

　深くて快適な呼吸を続けます、汚点が消えていきます…あなたはますます輝いていきます…

　続けて行くと…白いあなたにあるシミ、汚点は消え、同時に体重が減っていきます…あなたはどんどん軽くなります…実際、あなたの輝きが増すにつれて重力の法則はあなたに影響しなくなっていきます…

　今や、白く輝いているあなたにはもはや何のシミ、汚点もなくなり、あなたには重さはまったくありません…あなた自身の重さはまったくなくなり、もはやあなたを地上に留めるものは何もありません…あなたはとても軽い状態になり…浮くことができます…浮いているのを感じます…もはや重力の法則があなたを地上に留まることはありません…今浮いています、それを感じます、飛んでいるようです…それを感じます…あなたはとても軽く、あなたは空中を飛んでいます…そして今、あなたは自分の意識を好きなように移動させることができます…

　それではあなたの意識をこの地上から上方へと動かします…あなたは上方へと移動し、初めはゆっくりとですが徐々にスピードが出てきます…意識が上方へと移動していくのを感じてください…あなたは非常に速い速度で移動しています…

　この地球のかなり上方まで到達したら、そこで停止し、ホワイトブルーの光の中に浮いている自分を見いだします…周囲はホワイトブルーの輝きです…あなたは純白です…そしてあなたの白さはとても輝いています…

　下を見ると、自分が地上からかなり離れた高いところにいるのがわかります…地球はとても大きな球体に見えます…地上の細かな部分は見えません…それはとても大きな球体です…

　さて、あなた自身の白さは非常に輝いているので、白い太陽にように輝いています…あなたはあらゆる方向にその純白の輝きを放っており、その白さは変わりません…そしてあなたの周囲はホワイトブルーの光です…あなたは同時に2つの色の輝きを見ます…

　それではあなた自身からのこの白の輝きを下方に向け、あなた自身の純白で主のアガピと共にこの地球を守ることを願い、主のアガピのなかで何であれ地球にとってベストなことを願います…

　この地球上の全ての人間の苦しみが軽減することを祈ります…全ての人間によってより良い日が来ることを祈ります…地球上の全ての人間が平安と静けさのなかで生きることを願います。

EREVNA/PYR28H\KE05/L6/DF2/1